

第5期 雄武町総合計画 後期実施計画書 兼 事務事業評価調書

様式1

No. 09030185

政策目標	1	はつらつ・雄武～地域産業の振興～	会計区分	1	一般会計	【全体計画内容】 ※後期実施計画期間外の計画期間を有する場合のみ記載
基本施策	3	水産業の振興	事業優先度	A		
単位施策	2	経営基盤の強化	政策事務分類	3 単独自治事務(その他)		
事業名	漁港維持補修事業		見直し年度			
事業期間	平成29年度		担当課	9 産業振興課		
事業主体	北海道		関係課	#N/A		
事業指標	整備箇所			#N/A		
事業目標	1箇所		ハード/ソフト 事業区分	1 ハード事業		
住民参加	無		関係例規・法令名			
住民協働	無		関係個別計画名			

全体計画 事業内容		平成 25 年度 事業内容	平成 26 年度 事業内容	平成 27 年度 事業内容	平成 28 年度 事業内容	平成 29 年度 事業内容	
計 画 内 容	北海道が行う各漁港維持補修に係る地元負担金					・雄武漁港作業保管施設前 排水環境整備 事業費 2,300千円 地元負担 184千円	
	・雄武漁港作業保管施設前排水環境整備 地元負担金 10/100						
計 画 事 業 費	事業費(千円)	184	0	0	0	184	
	財源内訳						
	国庫支出金	0					
	道支出金	0					
	地方債	0					
その他	36				36		
一般財源	148				148		
実 績 事 業 費	事業費(千円)	182	0	0	0	182	
	財源内訳						
	国庫支出金	0					
	道支出金	0					
	地方債	0					
その他	36				36		
一般財源	146				146		
関 連 事 項	特定財源の名称 漁協負担金	【評価・実績】	(実施内容等) ※事務事業評価結果	(実施内容等) ※事務事業評価結果	(実施内容等) ※事務事業評価結果	(実施内容等) 雄武漁港作業保管施設前用地 設計・測量 A=3,500㎡ ※事務事業評価結果 A-継続/現状維持	
	前期計画からの継続 (継続有り)	年度目標値				1箇所	
		年度達成率	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	99%
	第6期計画への継続 (継続有り)	全体達成率	0%	0%	0%	0%	99%
		備考欄					

事業名	漁港維持補修事業	評価者 管理職 職氏名	産業振興課長	横田 和幸
		評価者 作成者 職氏名	水産係長	高田 勉

様式1
平成29年度実施
平成30年度評価

■事務事業の目的・内容(Plan・Do)

【誰、何が(対象)】	漁業者	望ましい指標(目的達成状況を最も端的に表す理論上の成果指標)	整備箇所								
【抱える課題やニーズは】	雄武漁港作業保管施設前の排水状況が悪く、衛生面での課題がある。	指標(指標計算式/解説)	目標値及び実績値								
【どのような状態になることを目指したのか(意図)】	保管施設から排水溝に向けた傾斜を付けるためのオーバーレイ舗装を施す。	① 整備箇所	<table border="1"> <tr> <td>目標年度</td> <td>平成29年度</td> </tr> <tr> <td>目標値</td> <td>1箇所</td> </tr> <tr> <td>実績値</td> <td>1箇所</td> </tr> <tr> <td>達成度</td> <td>100.0%</td> </tr> </table>	目標年度	平成29年度	目標値	1箇所	実績値	1箇所	達成度	100.0%
目標年度	平成29年度										
目標値	1箇所										
実績値	1箇所										
達成度	100.0%										
【その結果、どのような成果を実現したいか】 ※成果=目的	排水環境を改善することにより、衛生面の向上が図られる。	②	<table border="1"> <tr> <td>目標年度</td> <td>年度</td> </tr> <tr> <td>目標値</td> <td></td> </tr> <tr> <td>実績値</td> <td></td> </tr> <tr> <td>達成度</td> <td>#DIV/0!%</td> </tr> </table>	目標年度	年度	目標値		実績値		達成度	#DIV/0!%
目標年度	年度										
目標値											
実績値											
達成度	#DIV/0!%										
【内容(どのような手段で何を行ったか)】	用地整備に係る地元負担金の支出	北海道が実施する農山漁村地域整備事業に対する地元負担金の支出									

■事務事業の評価(Check)

(1)事務事業の必要性(町民ニーズ、社会情勢に照らして妥当か、町が担う必要があるか。当該事業を実施しない場合の支障、既存事業との機能重複や見直しによる対応可能性)

必要	<input type="checkbox"/>	義務的なもの	雄武漁港作業保管施設における衛生面の向上を図るため、重要である。
必要/概ね必要/課題あり	<input type="checkbox"/>	全部	
	<input type="checkbox"/>	一部	

(2)事務事業の有効性(期待する効果が得られたか)

有効	設定した目標値の達成状況	施設前用地整備に向け、用地の設計・測量が計画どおり実施された。
	<input checked="" type="checkbox"/> 達成	
有効/概ね有効/課題あり	<input type="checkbox"/> ほぼ達成	
	<input type="checkbox"/> 下回る	

(3)事務事業の効率性(コストに見合った効果が得られたか、計画上のコストを下げる工夫をしたか)

効率的	判断の理由	計画的に事業が進められており、また、地元負担も定率負担となっている。
	<input type="checkbox"/> 事業費抑制	
	<input type="checkbox"/> 人員削減	
効率的/概ね効率的/課題あり	<input type="checkbox"/> 時間短縮・作業軽減	
	<input checked="" type="checkbox"/> その他	

(4)事務事業の公平性

公平	判断の理由	水産基盤整備事業に係る地元負担金については、条例に基づき受益者負担金(負担額の20%)を徴収している。
	<input checked="" type="checkbox"/> 受益者負担がある	
	<input type="checkbox"/> 受益者負担がない	
公平/概ね公平/公平でない	<input type="checkbox"/> 受益が一部に偏る	
	<input type="checkbox"/> その他	

■その他特記事項(アンケート調査など外部評価を受けた場合は、その旨記入)

■総合評価【A~D】

A:計画通り事業が進んでいる。目標が達成された。今後も計画通り事業を進めることが適当 等
B:ほぼ計画どおりに進んでいるが目標を達成していない。事業の進め方に改善が必要 等
C:当初の計画を達成できていない。事業規模、内容、実施主体等の見直しが必要 等
D:事業効果が表れていない。事業の統合、休・廃止の検討が必要 等

自己評価(一次評価)	評価会議評価(二次評価)	町長評価(三次評価)
A		
作業保管施設における排水環境の改善を図るための用地の設計・測量が、計画どおり進められた。		

今後の展開方向
(Action)

継続/現状維持		
作業保管施設で取り扱うほたて稚貝の衛生環境の改善を図るため、継続して実施する必要がある。		

※展開方向の区分

- 継続/現状維持又は拡充又は縮小又は統合又は内容の見直し・変更
- 終了 ○休止 ○廃止